

放送部

10月31日 京都府高等学校総合文化祭に参加しました。今回は残念なことにアナウンス・朗読は全て予選落ち。ただ、オーディオビジュアル部門で優秀賞を獲得しました。タイトルは「いのちを永遠の色に」。地元の染織家、陣内章代氏に取材し、色とりどりの自然の草木を絹糸に染め、機にかけて縞や格子を織り出して新たな命を紡ぎ出す工程を美しい画像でまとめました。作品は「北桑田高校の未来を創る会」で発表します。どうぞ御覧ください。

サッカー部

サッカー部は選手9名（2年5名、1年4名）とマネージャー2名（共に1年）で活動しています。2010年の戦績は、公式戦では強豪校と当たることが多くあまり良い成績を残せませんでした。しかしながら口丹の各高校や社会人との練習試合では勝つことが多かったので、決して弱いチームという訳ではありません。今は選手自身のスキルアップと本番での勝負強さを身につけるべく練習に励んでいます。

1月から新人戦が始まります。まだ初戦の相手が決まっていますが、どの学校と当たっても勝ちにいけます。ぜひ応援よろしくお願いします。

女子バレーボール部

保護者の皆様には会場での応援をいただき、地域やOGの皆様には合同練習や技術指導でお世話になっております。ありがとうございます。

北高女子バレー部は夏の口丹総体で2位となりました。特筆すべきことはサーブの決定率が高く、優勝した南丹高校に対しても互角に試合を進められそうところまでいけたと見ております。

今年度から始まりました全日本高等学校選手権京都南部予選では、久御山高校と対戦し、15点、11点と1回戦敗退となりました。試合内容は、サーブミスも少なく、強打や軟打に対しても柔軟に対応できていました。残念ながら部員数が2年生1人、1年生3人と少なく、急遽助っ人に中学校での経験者の1年生2人、2年生1人を頼みましたが、絶対的な練習量の違いから圧倒されてしまいました。

現在、1月中旬にある新人選手権南部予選（1月22～23日）出場を目指して予選リーグ戦での勝利に向けて練習に励んでおります。どうぞいっそうの応援をよろしくお願いいたします。

ワンダーフォーゲル部

平成22年9月11・12日に近畿高等学校登山大会が行われました。猛烈な残暑が残る中で、大阪妙見山を中心に苦しい登山をしました。他校の選手の中には熱中症でリタイアする者もいましたが、本校の選手はコースを登覇する早さではトップでした。しかし、知識・天気図等で逆転されてしまいました。



美術部

9月11日から10月2日までの毎土曜日、下熊田在住のガラス工芸作家、川尻美栄子氏よりステンドグラスとモザイクの制作講習を受けました。

普段はイラストレーションや絵画制作中心の活動をしている美術部員です。筆と絵の具を半田ゴテやガラスに持ち替えての制作に戸惑うことも多かったと思いますが楽しく制作することができました。

ガラスの持つ素材の美しさや扱いの難しさに触れることができ大変有意義な時間を過ごすことができました。

制作した作品は、10月末に開催された南丹美術工芸教育展と、11月はじめに開催された新・北桑展に出品しました。（下記の賞を受賞しました）

- ★新・北桑展 KBS 京都賞 牧野純也(2年)
- ★南丹美術工芸教育展 佳作 栗栖昂志(2年)・佐藤朱夏(1年)



平成22年度
地球温暖化防止活動環境大臣表彰 受賞!!

～京都府立北桑田高等学校～

本校で2004年から行われている中国での植林活動が高く評価され、今回の地球温暖化防止活動環境大臣表彰国際貢献部門の受賞が決定しました。

授賞式は12月15日（水）に東京で行われる予定です。

詳細については環境省 HP の報道発表資料を御覧ください。

みかく。かがやく。experience!

京都府立北桑田高等学校

〒601-0534 京都市右京区京北下弓削町沢の奥 15
tel 0771(54)0022 fax 0771(54)0310
http://www1.kyoto-be.ne.jp/kitakuwada-hs/



森林リサーチ科 ～中国研修旅行～



森林リサーチ科2年生は、11月1日から5日にかけて、中華人民共和国へ研修旅行に行ってきました。行き先は、北京と西安です。出発の朝、学校集合は

5時前と非常に早かったのですが、遅刻や、忘れ物をした生徒はゼロ名と、素晴らしいスタートを切りました。まだ暗い中を、バスで関西国際空港へと向かい、飛行機で中国へ飛び立ちました。

中国に降り立ってからは、そのスケールの大きさに圧倒されました。空港、建物、道路など、日本とはその大きさもそこに暮らす人の多さも桁違いです。また、急ピッチで発展が続く中国は、建設ラッシュであり、大きなクレーンが街のあちらこちらで稼働していました。その反面、一步路地裏に入れば、発展から取り残されたような暮らしを目にしたり、市街地の外に出れば、昔ながらの農村の暮らしを見ることができたりと、その格差に愕然としました。異国の文化やお国事情に触れ、日本では学べないことを肌で感じとることができました。

さらに、今回の研修の一番の目的である、中国乾燥地帯での植林を実施しました。吸水性ポリマーという樹脂を使い、土壌の保水性を高める実験を、昨年から引き続き行いました。その本格的な調査一年目として、各自ペアになり、協力して自分達の苗木を植えました。植林地の土は固く、岩がごろごろと出てきます。皆、力いっぱい穴を掘りました。この実験は、森林リサーチ科の後輩へと引き継がれていきます。



今年は、日中の関係がぎくしゃくとしていたこともあり、研修実施に向けて直前まで御心配をおかけしました。しかし、クラス全員が参加、無事植林を成功させて帰校できました。この経験が、自分の未来を切り拓く原動力になっていくようにと願っています。



普通科Ⅰ・Ⅱ類 ～沖縄研修旅行～



去る11月1日から4日まで、普通科男子25名、女子40名の計65名が参加しました。

研修の柱である亜熱帯地域の自然体験、沖縄独自の文化体験、日本で唯一地上戦となった歴史を知る平和学習、いずれも充実したものにすることができました。

生徒のアンケートをみると、「旅行先として沖縄はよかった」「研修旅行として全体的によかった」という意見が圧倒的でした。

美しい場所や珍しいものが見られたということも確かにあるでしょうが、沖縄の方の素朴で温かい人柄に触れたことや、自分たちが集団行動の規律を守り、主体的な活動ができたことがその要因ではなかったと考えられます。

旅行に飛行機を使うこと、旅行場所に沖縄を選んだこと、ぐすく（城）跡や水族館等様々な場所を訪れたことなども、どれも期待に添えたと思われます。事前に「沖縄かぁ」と言っていた生徒も、アンケートに「とてもよかった」と記入していました。特に、同年代の顔写真が並びひめゆり資料館等では、それぞれが平和への思いを強くしたようでした。

国際通りでの班別行動の時間を十分にとりましたが、事前に情報をゲット的を絞っておくとか、夕食をとる店を予約して時間を有効に使うなど、「今時の高校生」らしさも発揮していました。

3日目の夜に、全員でレクリエーションをする機会を持ちました。旅行委員の企画で、部屋ごとの発表とクイズ大会を行いました。楽しい交流の時間になることができました。これらの取り組みが今後の学校行事の自治の力を育む種になることを願っています。



～進路指導通信～

公務員試験の競争率は激化しています。1・2年生の間から国語・数学・英語・社会・理科の基本的な知識を確実に身につけ、服装や立ち居振る舞い、公の場での言葉遣いの習得が前提です。「とりあえず受けてみよう」では、名簿登載まで至りませんし、たとえば消防では、名簿登載されても採用されないことがあります。公務員を志望する場合は、早めの準備と情報収集が望まれます。

企業への就職については、地域の教育力、御家庭の教育力にお力添えをいただき、公開求人、指定求人ともに着実に内定をいただいておりますが、高卒生を募集する業種や職種は限られており、生徒が希望する分野に求人のないことが多くあります。学校でもキャリア教育をとおして様々な職業について知る機会を模索して参ります。御家庭でも職業についてのお話を是非ともお願いいたします。

進学におきましては、専門学校・短大の推薦・AO入試結果が一段落しました。ほぼ希望通りに合格をしてくれています。大学の推薦は、受験機会が増えているのですが、自分の実力に見合ったところを受験する者は複数合格を得るのですが、挑戦するつもりで受けている者にとっては、厚い壁となっているようです。

この冬にどれだけ問題量をこなすかで、センター試験、私学の一般試験への勝算が高まります。3年生は体調の万全管理とともに沢山の問題を解き、その量を自信につなげてください。1・2年生は復習をしっかりとするとともに自分の進路希望を実現するために計画的な家庭学習をしてください。保護者の皆様へ、進路に関する疑問質問は、どんなことでも結構ですので、できるだけ早い段階で進路指導部までお問い合わせください。